

Arcserve® Backup r17 for Windows

ご使用になる前に

この度、Arcserve Backup r17 for Windows をお買い上げいただきありがとうございます。
本書を、ご使用になる前に必ずお読みください。

・添付資料「はじめにお読みください」について

本製品に同梱されている「はじめにお読みください」に書かれている内容との差異を記述します。
(2016年4月18日に確認したものであり添付資料の改定によりページ番号が変更される場合があります。)

①該当資料に記載されています、ライセンスキーについて

○パッケージ製品 (BOX) 版をご購入の場合

BASE 製品のライセンスキーはメディアケースの内側に記載されています。

Agent/Option 製品のライセンスキーは製品シート裏面に記載されています。

尚、ライセンスキーは、いかなる場合でも再発行できません。大切に保管ください。

○ライセンスプログラム (LP) 版をご購入の場合

ライセンスキーはプログラム証書の「登録 ID/キーコード」に記載されています。

ライセンスキーを登録しますと、ご購入 Arcserve 製品のライセンス (製品機能・数量) の範囲を超えて利用が可能になりますが、利用許諾違反になりますのでご注意ください。

②P1「2. 最新情報のお知らせ」について、本製品は OS、アプリケーション、対応サーバ機器、 テーブルデバイスについて別途販売元より動作要件が定義されています。

相違につきましては購入された営業または技術担当経由で購入元へお問い合わせください。

その他の動作要件やサービスパック等の対応については該当の項目を参照ください。

③P1「3. インストールガイド、ライセンスキーの登録手順」について

Web サイトの本バージョンのインストールガイド (環境設定ガイド) は新バージョンの

リリース後に削除される事が想定されます。必要に応じダウンロードして保管ください。

・環境構築ガイド インストール編について

「環境設定ガイド インストール編」の補足

①P4「1-1 動作要件の確認」について

○Arcserve マネージャを利用する場合、画面解像度が 1280×1024 または 1440×900 の環境にて利用ください。

②P7「7. [ライセンスキー]」については必ず、以下を選択してください。

[25 文字キー (例: ABCDE-FGHIJ-KLMNO-PQRST-UVWXY)]

③P8「9. [環境設定] - [インストールの種類]」では「高速」モードは選択しないでください。

④P9「10. [環境設定] - [コンポーネント]」について Agent 製品の存在するアプリケーションの サービスが起動している場合、該当 Agent 製品がデフォルトで選択されています。ご購入してい ない Agent 製品は選択を解除してください。

特に Arcserve Backup を一度インストールしアンインストールした場合「Agent for Microsoft SQL
Server」が選択されます。ライセンスを購入していない場合は選択を解除してインストール
ください。

・インストーラー利用時の注意事項

インストール、アンインストール、アップグレードインストール、修正モジュール適用を実施する
時にレジストリエディタ、Windows サービスマネージャ、Arcserve 関係のマネージャは閉じてくだ
さい。

(※コンピュータ管理などの関連マネージャ等、極力ウィンドウを閉じた状態で実施ください。)

<参考情報>

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/202915425>

・OEM 製品についての注意事項

本製品は OEM 製品です。ご購入された OEM 販売元のサポート以外は有償、無償に関わらず受け付
けられません。詳細につきましては担当営業または技術担当経由でお問い合わせください。

・BASE 製品のサービス停止/起動について

BASE 製品の各サービスの停止/起動について正常な順番で実施しない場合、動作に影響を与える事
があります。そのため保守サービス担当の指示および技術情報に掲載されていない限り BASE 製品
インストールフォルダ直下の cstop.bat で停止し、cstart.bat で起動してください。

• **BASE 導入環境で「メンテナンスに関する重要なお知らせ」が表示されます**

製品インストール後 9 か月経過すると Windows タスクトレイに「メンテナンスに関する重要なお知らせ」が表示されますが、バックアップ運用や有償サポート契約に影響しません。該当のメッセージを表示させなくする方法は以下の技術情報を参照ください。

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/202189219>

• **14:00 頃に Universal Agent サービスが停止する事があります**

Universal Agent サービスが 14:00 頃に停止し、バックアップが失敗する事があります。事前に対策が必要な場合は以下のサイトの対策を実施してください。

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/202876085>

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/202915485>

※OS により 3 回までサービスが自動起動する場合があります。

• **DRO で WinPE ブート方式を利用する場合の留意**

Disaster Recovery Option の WinPE ブート方式を利用する場合は Windows ADK または Windows AIK のインストールされた環境で Arcserve WinPE ブートメディアの作成が必要になります。

※WinPE ブートメディア作成に ISO イメージファイルの書き込みに対応したライティングソフトが必要になります。

• **Agent for Open Files 導入環境での注意**

Agent for Open Files では常にローカルボリュームのファイルの監視を実施しています。そのため以下のような現象が発生します。

- ・フォルダを作成した場合にアーカイブビット属性の付与がされます。
- ・ファイル/フォルダを移動した場合にアーカイブビット属性の付与がされます。

また、ファイルを常に監視していますためボリュームのアンマウント処理ができない事があります。クラスタ HA 構成でのボリューム移動時には注意ください。

この現象を解決するにはマニュアル「管理者ガイド」「付録 A トラブルシューティング」の「移動または名前変更されたファイルが Arcserve Backup によってバックアップされない」の内容を確認頂き機能の無効化を実施してください。

• **テープ装置の取扱いについて**

テープ装置の交換やファームウェア変更を実施した場合、デバイスグループの設定が変更されることがあります。交換前の設定に変更してください。

またテープチェンジャ装置を交換した場合はライブラリ環境設定が初期化されますので、必要に応じて再設定してください。

• **オートローダ/ライブラリ装置のテープメディアの交換について**

Arcserve Tape Engine サービスを起動したままテープメディアを交換した場合 Arcserve のログにエラーが出力される場合や交換後のメディアを正常に認識できない事があります。

以下の手順でテープメディアを交換することを推奨します。

- 1) ドライブにマウント中のテープメディアを Arcserve デバイスマネージャでイジェクトします。
- 2) テープエンジンサービスを停止します。
- 3) テープメディアを交換します。
交換後にテープ装置のイニシャライズ（初期化）が完了するのを待ちます。
- 4) テープエンジンサービスを起動します。
- 5) Arcserve デバイスマネージャで交換後のテープメディアが正常に認識されている事を確認してください。
- 6) テープメディアが正常に認識できていない場合。

該当のスロットに対し通常インベントリを実施して正常なメディア認識をさせてください。
※イジェクト、インベントリ操作についてはマニュアル「Tape Library Option ユーザガイド」を参照ください。